

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		オリンピック・パラリンピック生涯学習講座				所管	教育委員会 生涯学習課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	137	計画事業名	オリンピック・パラリンピック生涯学習講座			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-3. 学びと交流の仕組みづくり [小 柱] (1)多様な学習活動の支援 [施 策] ①学習の機会と環境の充実				[事業開始]	平成 27 年度			
						[終了予定]	- 年度			
	根拠法令等	その他		[法令等名]	なし					
	事業対象	直接の対象 : 区内在住、在勤または在学者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	東京2020大会開催に向け、オリンピック・パラリンピックの歴史や大会の楽しみ方、外国人観光客を迎えるために必要な語学・習慣や区の歴史・伝統や文化等の講座を全区的かつ定期的に開催し、区内全域での気運醸成を図る。								
	事業内容 [29年度]	オリンピック・パラリンピックの歴史や、外国人観光客を迎えるために必要な語学・異文化理解、また、日本文化や台東区の歴史等の学習講座を年5講座実施。(開催館:社会教育センター、小島社会教育館、千束社会教育館、今戸社会教育館、根岸社会教育館、日数:41日、延受講者数535名)								
委託の有無	全部委託		委託内容	オリンピック・パラリンピック生涯学習講座の実施						
補助金の有無	都									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		
	活動指標	生涯学習講座数		講座	5	5	5	5	5	100.0%
	成果指標	生涯学習講座受講者数(延べ)		人	500	516	612	535	500	107.0%
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				1,913	1,569	1,400		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				1,604	1,338	1,676		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				1,905	1,549	1,400		
		総経費				9	20	0		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				3,518	2,907	3,076		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0		
一般財源(区負担額)				956	785	350				
前回評価から29年度に改善した事項	基礎講座の対象者を「中学生以上」と範囲をひろげ、若い世代へもオリンピック・パラリンピックの関心を促した。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	東京2020大会を2年後に控え、平成30年度に都と組織委員会においてボランティアの募集が予定される中、本事業においても更なる気運醸成を図り、おもてなしの意識を高めるため、効果的な講座を展開していく必要がある。							
	効率性	3	社会教育施設の指定管理者と連携して実施しているため、そのノウハウを生かした講座を実施するなど効率性は高い。							
	手段の適切性	3	生涯学習ラーニングスクエアを担当する指定管理者と連携することで、効果的な講座となった。							
目的達成度	4	一部の講座では応募率が100%を大きく上回り、全体でも目標値を達成している。2年後のオリンピック・パラリンピックに向けて徐々に区民の関心も高くなり、おもてなしの意識が図られてきている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
東京2020大会に向け、少しずつではあるが区民の気運醸成と外国人観光客へのおもてなしの意識が高まっていると考えられる。今後も指定管理者と連携しながらそのノウハウを生かした学習を実践し、さらなる区民の関心を図っていく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		